



2001年05月21日

フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン2001開幕第一戦結果報告

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役:梅野 勉)がサポートする、輸入車初のJAF(日本自動車連盟)公認ナンバー付きワンメイク レース、“フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン 2001”(以下:NBCJ)の開幕第一戦が、晴天に恵まれた5月19日(土)、20日(日)の両日、セントラルパーク MINEサーキット(所在地:山口県美祢市)にて開催されました。今年で2年目となるNBCJは、昨年度より1戦多い全5戦が予定され、今年も全国の有名サーキットを順次転戦します。

昨年実績を上回るエントリーとなった、シリーズ開幕戦の参加台数は14台。予選は19日(土)午前10時過ぎからスタート。今年からレース時にのみ換装される専用マフラーから、乾いたエグゾースト ノートを響かせてアタックした結果は、昨年の覇者ゼッケン77番:D-Speed Modelビートルを操る山本選手と、昨年の第三戦から本格参戦した地元広島 of ゼッケン33番:宮本選手(フォルクスワーゲン 広島ビートル)、そして今年から参加のゼッケン5番:橋澤選手(SIG New Beetle)の3人が、共に1分55秒台のベストタイムをはじき出す一方、昨年度はバトルメーカーとして大いにレースを盛り上げた坂本(55:Team Duo Beetle)、藤島(36:KABUKIYA Beetle)、壺林(99:CRT New Beetle 1)各選手は、1分56秒台をマーク、トップから1秒という僅差で予選を終了しました。

スターティング グリッドに並ぶカップカーの中には、昨年以上に個性的なカラーリングを施したマシンも姿を見せました。その中でも特に目立ったのは、ブラックの車体に鮮やかなピンクが印象的な「HEART-New Beetle」。自らレーシング カーのステアリングを握ることがある、女優 岡安由美子さんが監督を務める「ハート イン ハートレーシング」のマシンであり、NBCJに今年から全戦出場する予定となっています。また今回初エントリーとなる岡安監督は、金曜日の練習走行会で自らカップカーに乗り込み、シェイク ダウンを行いながらその走りをチェックしていました。

翌20日(日)。主催者発表41,300人が結集したセントラルパーク MINEサーキットのNBCJ決勝戦では、「昨年のシリーズ チャンピオンとしての意地を見せたかった。」と、今年最初の勝利者コメントを出したゼッケン77番:山本選手が、始終安定した走りを見せて初戦からポール トゥー フィニッシュという幸先の良いスタートを切りました。また初戦2位には地元の意地を見せたゼッケン33番:宮本選手が続くと、3位4位には、昨年の経験を生かして予選からポイント アップしてきた、あのバトルメーカー、坂本、藤島両選手がにじり寄り、場内の観客から大きな拍手と応援を受けて、無事フィニッシュしました。なお第二戦は6月30日(土:予選)/7月1日(日:決勝)、鈴鹿サーキットにて行われます。

第一戦ミネ サーキット決勝戦成績

New Beetle Cup Race Result at Mine						
決勝順位	予選順位	ゼッケン	ドライバー	車名	決勝所要時間	決勝ベストタイム
1	1	77	山本将之	D-Speed Model ビートル	19'33.090	1'55.908
2	2	33	宮本 新	フォルクスワーゲン 広島 ビートル	19'37.411	1'56.596
3	4	55	坂本祐也	Team DUO Beetle	19'41.990	1'57.013
4	6	36	藤島敏也	KABUKIYA Beetle	19'51.596	1'57.712
5	3	5	橋澤 宏	SIG New Beetle	19'53.224	1'56.736
6	8	99	壺林貴也	CRT New Beetle	19'56.189	1'57.383